

学校便り グローウィング (glowing and growing)

第 10 号

令和 6 年 12 月 24 日 (火)

北川中学校人権教室！

今年は、おとぎ話の「桃太郎」を題材に人権教室を行いました。

最初に3年生が、おとぎ話の「桃太郎」の寸劇で、鬼退治をする場面をしてもらいました。その後、ビデオの「鬼退治をしたくない桃太郎」を途中まで視聴し、実は桃太郎は鬼退治をしたくなかったという設定の元、どのように解決すれば良かったのかを6班に分かれて協議しました。その後、休憩を挟んで、それぞれの登場人物の性格を踏まえて、班ごとに寸劇を行いました。まずはしっかりとお互いの言い分を聞くことを大事にする班やお互いが共存するために助け合いを大事にする班等、班ごとに特徴が見られ、ユニークな視点で考えられていました。20 分の協議時間で、寸劇も 3 分間しかなかったので、まだまだまとめきらない班もありましたが、短時間でよく考えていると感じました。

最後に「鬼退治をしたくない桃太郎」の続きを視聴し、市の人権擁護委員でもあり、本校はげまし隊の小野久子さんが、円滑な人間関係を構築するためにはということで、まとめの話をしていただきました。人権教室で、学んだ内容を大事にしながら、お互いが住みやすい社会を作るために対話を通じて最適解を導きだすことは、これからを生きる我々に求められるスキルです。しっかりと、身につけるようにしていきましょう。



長い長い2学期も本日で終了！

本日で、2 学期も終了ですが、大きな事故やケガ等もなく全員が無事に過ごせたことが何よりです。振り返ると北川中ならではの様々な体験活動に取り組んできたことが分かります。

終業式の中で、一宮彩音さん、工藤慶斗さん、高木脩斗さんがそれぞれの 2 学期を振り返ってくれました。代表にならなかつた皆さんも、2つの視点で振り返ってみてください。

1 つ目は、学校行事や授業を通して、グローウィング・成長し続けることができたかということです。また、自分の輝ける場面がどこであったのかを見つけ出してほしいと思います。それが自分の長所であり、持ち味だと思います。そこを更に伸ばせばいいのです。

2 つ目は、対話についてです。良く主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を重視した授業づくりの重要性が話題になります。そもそも対話とはどんなものなのでしょうか。

対話とは、双方向性で、お互いの意見を傾聴しながら、立場や考えを理解・尊重し、共感を深めることであり、建設的な対話の中で、意見を融合し新たな価値を生み出すことと言われています。奥が深いですね。授業の中でも、グループ討議の時間があると思いますが、この対話を意識しながらどこまでできているのか、振り返ってほしいと思います。これができないと深い学びにつながっていきません。会話ではなく、対話を意識していきましょう！

※1年の計は元旦にありといいます。次へのステージに向けて具体的な目標を立てましょう。時間を使い有意義な休みを！元気な姿で1/7(火)に会うこと楽しみにしています！